

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.23					2.2
1.1 騒音		1.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	1.00					
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.1</b>	0.44					2.1
2.1 室温制御		3.3	0.50					
1 室温		3.0	0.50					
2 外皮性能		3.0	0.17					
3 ゾーン別制御性	各用途に応じ冷房・暖房の選択が可能なゾーニング計画としている	4.0	0.33					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	0.33					3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物内部に設置しない。	5.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30					3.1
<b>1 機能性</b>		3.0	0.40					3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		3.0	1.00					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.1	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、給湯HT(B)、冷温水SGP(D)。Eは不使用。	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			3.2	0.20			
1	空調・換気設備	空調熱源を電気、ガスの分散化を行っている	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	井水利用を行う。また節水器具を積極的に取り入れる	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.2	0.30			3.2
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30			
1	階高のゆとり		4.0	0.30			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.148	4.0	1.00			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			2.8	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		2.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑被率:6.07%、中・高木の水平投影面積:28.87%、舗装面積率:12.8%	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.6
LR1 エネルギー			-	0.40			4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.510、Low-eガラス仕様を採用。	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.50			5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI=0.74、太陽光発電設備・LED照明設備・水力発電設備を採用	5.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)		-	-			
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
	集合住宅の評価		-	-			
4.1	モニタリング		-	-			
4.2	運用管理体制		-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.7
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	自動水栓に加えて、節水型便器及び未来型エコトイレを採用。	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60			2.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=45%	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			2.9	0.33			2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	駐車場、駐輪場及び管理用車両の駐車施設を確保した。	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			